

まちのわだい

新町の誕生を記念して

伯耆町開町式

三月三十日（水）、鬼の館ホールで伯耆町開町式が行われました。

式典には町関係者、招待客約260名が出席し、伯耆町の誕生を祝いました。

住田町長は式典で、「旧両町は50年の歴史の中で大きく躍進しました。そのお互いの文化を尊重し、良い部分を伸ばすことが大切です。」

今日、自分たちのことは自分たちで決める、新しい地方自治が求められています。その面で我々は国からの自由を得たと言えますが、反面、国からの助けも小さくなってしまいました。しかし伯耆町には、この状況を乗り越える知恵があります。小さくてもキラリと光る町を目指し、共に歩みましょう。」と



開町式にて

あいさつをいたしました。また式典では、中央大学教授佐々木信夫氏を講師に迎え、「新しい地域づくりと課題」打てば響く地域圏をめざす」と題し、講演会が開かれました。

きれいな大山を守るために

春の大山一斉清掃



みんなで大山をキレイにしました

四月十七日（日）、春の大山一斉清掃が柘水高原周辺で行われました。当日は、子どもからお年寄りまで約百名の方々が参加されました。参加者の中には町外住の方もいらつやいました。

参加者の方にお話しを聞きました。

「普段何気なく通る道にも、探してみると意外と多くのゴミが落ちているものだなって思いました。道に落ちているゴミを拾うことによって自分からはなかなかできないものですけど、こういう機会があるといいですね。」とのことでした。

この大山一斉清掃は、春と秋の年二回行われます。次回の清掃で拾うゴミを少しでも減らすためには、自分が出したゴミは自分で持ち帰るなど、普段からの心がけが大切です。みなさんできれいな大山を守りましょう。

悲惨な交通事故を

防ぐために

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動初日の四月六日（水）、江府町佐川で交通安全街頭広報が江府町と合同で行われ、両町の交通安全関係者約三十名が参加しました。当日は国道一八一号を通る車輛を誘導し、運転者一人ひとりにチラシや交通安全啓発グッズなどを配り、交通ルール・マナーの遵守を呼びかけました。この時期は大型連休を迎え交通量が増えるため、交通事故の多発が予想されます。私たちには通り慣れた道でも、町外や県外から来られた方には慣れない道です。普段よりも一層の注意を払い、交通事故に遭わない、起こさないように気をつけましょう。



交通事故を防ぐためにがんばります